

令和8年4月21日

発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会
建設生産・管理システム部会(令和8年度 第1回)

直轄工事における総合評価落札方式等の実施状況 【令和6年度実績】



国土交通省

国土技術政策総合研究所

NILIM National Institute for Land and Infrastructure Management

1. 総合評価落札方式の適用状況	1
2. 競争の程度の状況	3
3. 落札率・入札率の状況	5
4. 技術評価の状況	9
5. 総合評価の特徴	13
6. 総合評価の導入と工事成績評定点	17

国土交通省の地方整備局が令和6年度に契約した工事は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約含め合計6,964件となっている。(※1) 国土交通省の直轄工事では平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受け、総合評価落札方式を適用することにより公共工事の品質確保を図っており、この総合評価落札方式を適用した工事についてこれまでの経年状況と併せて概観するために、令和6年度年次報告として実施状況を整理した。(※2)

1. 総合評価落札方式の適用状況

- 令和6年度の総合評価落札方式適用率(※3)は件数で99.2%、金額で99.7%。(P1~2)
- 令和6年度の総合評価落札方式の適用状況のうち、各契約タイプにおける内訳は件数シェアで施工能力評価型(Ⅱ型)が82.2%で最も多く、同(Ⅰ型)が13.3%、技術提案評価型(S型)が4.5%。金額シェアで施工能力評価型(Ⅱ型)が59.0%、同(Ⅰ型)が14.0%、技術提案評価型(S型)が27.1%。(P1~2)

2. 競争の程度の状況

- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型は5.7者で前年度より微減。技術提案評価型(S型)は5.8者で前年度から増加。WTO技術提案評価型(S型)(※4)は11.8者で前年度より減少。(P3)

3. 落札率、入札率の状況

- 令和6年度の平均入札率について、落札者は93.4%、非落札者は94.7%であり、前年度から微増。(P6)

4. 技術評価の状況

- 技術評価点1位と2位の得点差は技術提案評価型(S型)で平均2.5%、施工能力評価型Ⅰ型で平均2.2%、同Ⅱ型で平均2.3%、WTO技術提案評価型(S型)は2.4%である。(P11)

5. 総合評価の特徴

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で令和6年度は88%であり、前年度と同水準。WTO技術提案評価型(S型)で95%であり、前年度から微増。(P13~14)

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

- 工事成績評定点の平均は経年で上昇傾向となっており、近年80点前後で推移。平均的に一定の水準が確保されている。(P17)

(※1) 国土交通省の8地方整備局の契約工事で、港湾・空港関係の工事を含む。

(※2) 当年次報告は総合評価落札方式の実施状況について経年変化を見るために分析を行ったもので、随意契約等の契約方式については対象としていない。

(※3) 総合評価落札方式実施数/契約数(総合評価落札方式+価格競争)により算出している。

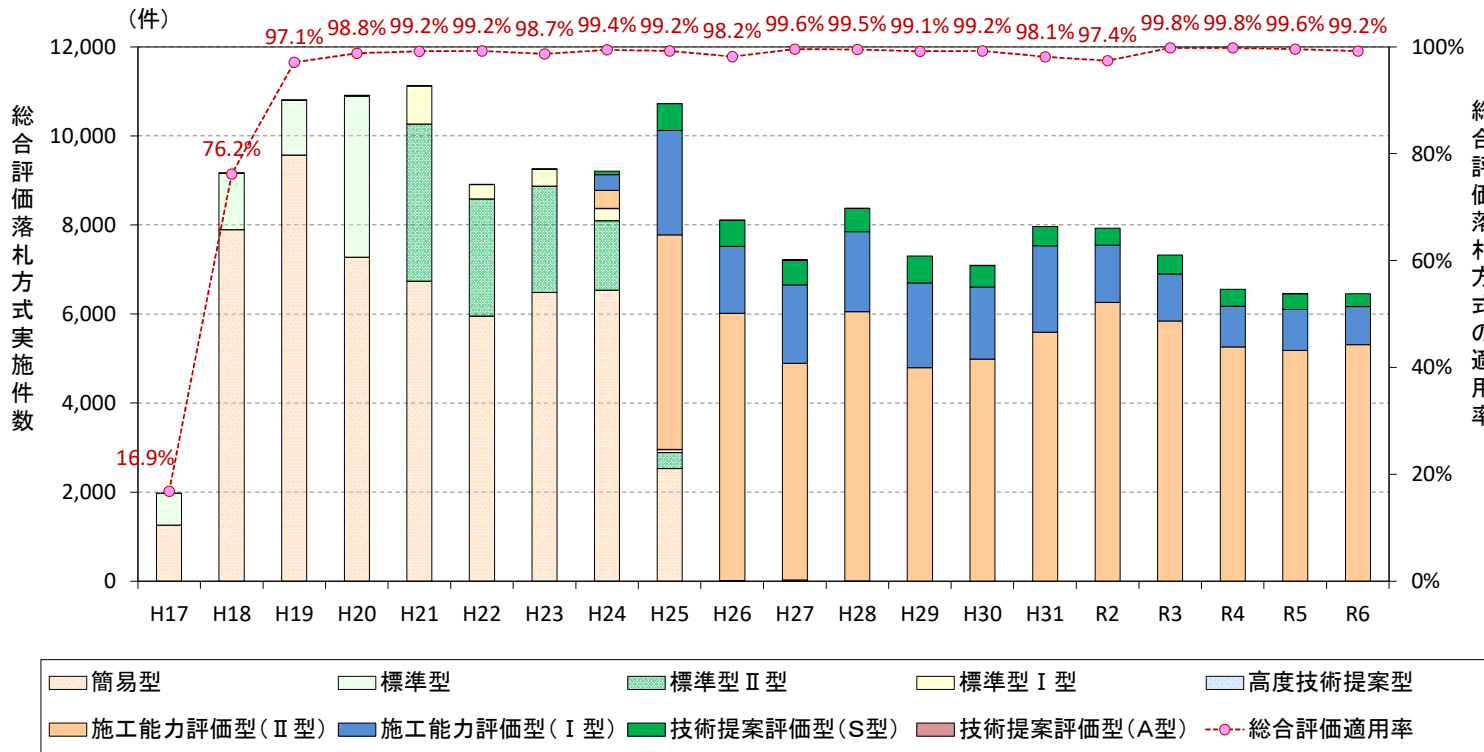
(※4) 「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうち、WTO対象額以上の工事を示す。

1. 総合評価落札方式の適用状況

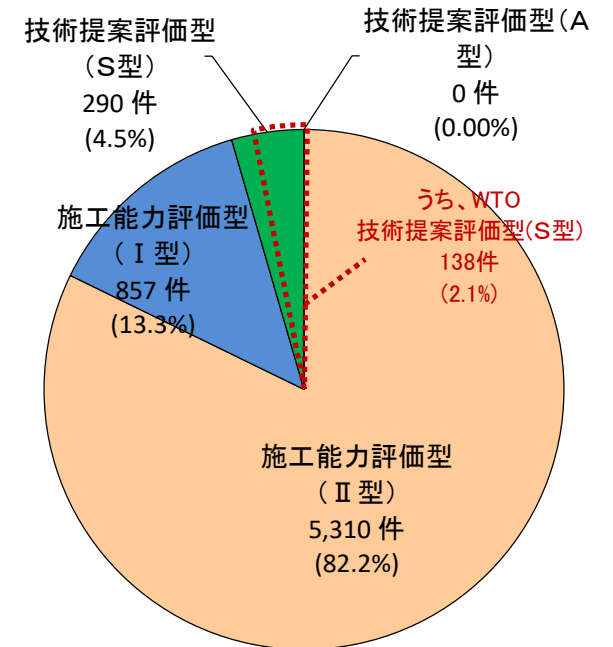
(1) 適用件数〔経年の推移〕

- 国土交通省直轄工事における令和6年度の総合評価落札方式の適用率(件数ベース)は99.2%であり、平成19年度以降はほぼ全ての競争入札で総合評価落札方式を適用している。
- 令和6年度のタイプ内訳では、施工能力評価型(I型・II型)が95.5%を占める。

【実施件数(平成17年度～令和6年度)】



【件数シェア(令和6年度)】



注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)

注2) 適用率は随意契約を除く競争入札(価格競争+総合評価落札方式)に占める総合評価落札方式実施件数の割合

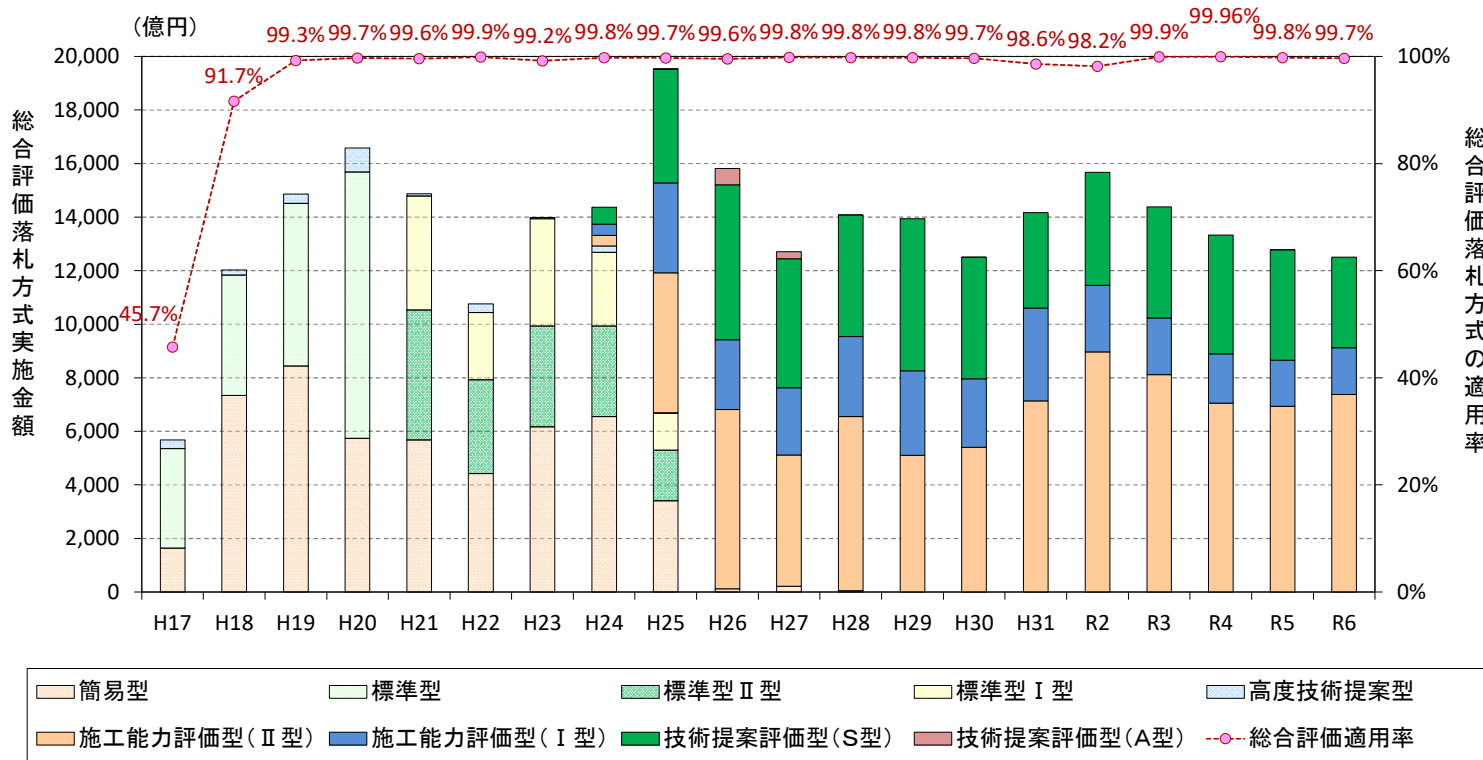
注3) 令和6年度は上記の他、価格競争52件(加算点なしの総合評価落札方式適用工事を含む)、随意契約455件(不落随契を含む)の契約を締結

1. 総合評価落札方式の適用状況

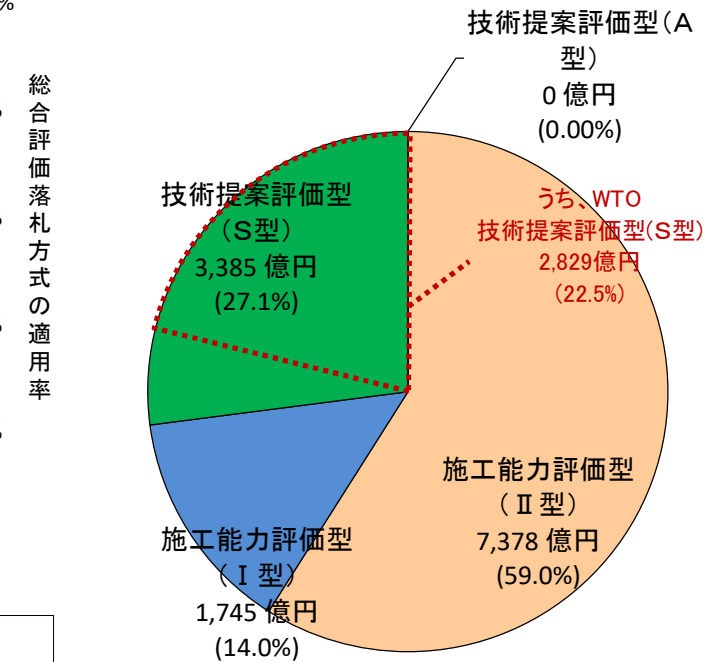
(2) 適用金額（契約額）〔経年の推移〕

- 国土交通省直轄工事における令和6年度の総合評価落札方式の適用率(金額ベース)は99.7%であり、平成19年度以降はほぼ全ての競争入札で総合評価落札方式を適用している。
- 令和6年度のタイプ内訳では、施工能力評価型(I型・II型)が73.0%を占める。

【実施件数（平成17年度～令和6年度）】



【金額シェア（令和6年度）】



注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を含む）

注2) 適用率は随意契約を除く競争入札(価格競争+総合評価落札方式)に占める総合評価落札方式実施金額の割合

注3) 令和6年度は上記の他、価格競争44億円(加算点なしの総合評価落札方式適用工事を含む)、随意契約2,439億円(不落随契を含む)の契約を締結

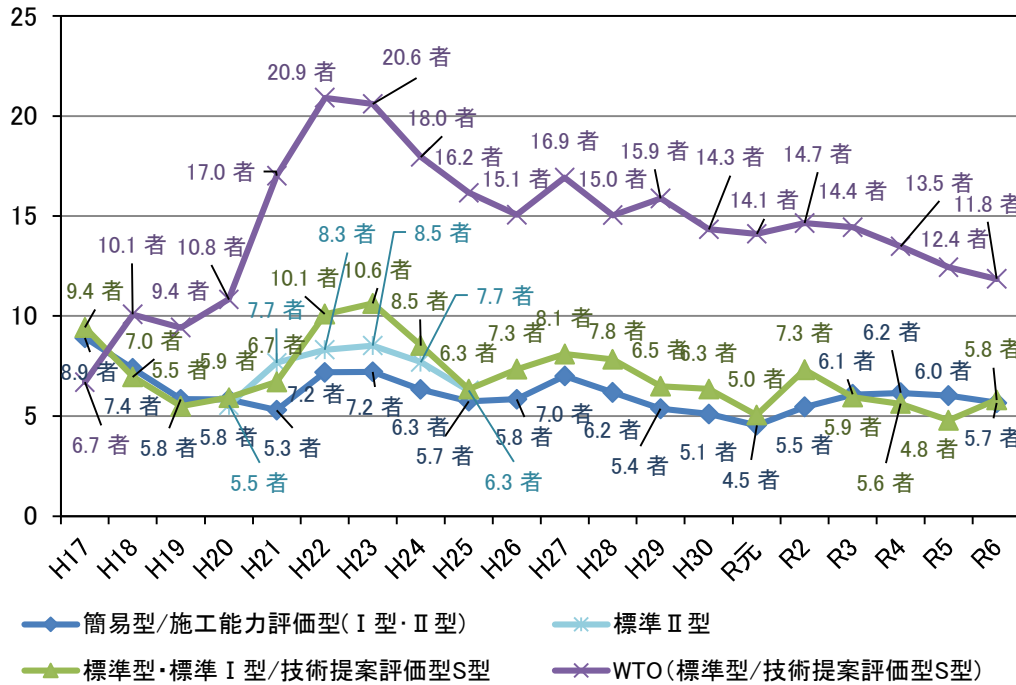
2. 競争の程度の状況

(1) 競争参加者数の平均〔経年の推移〕

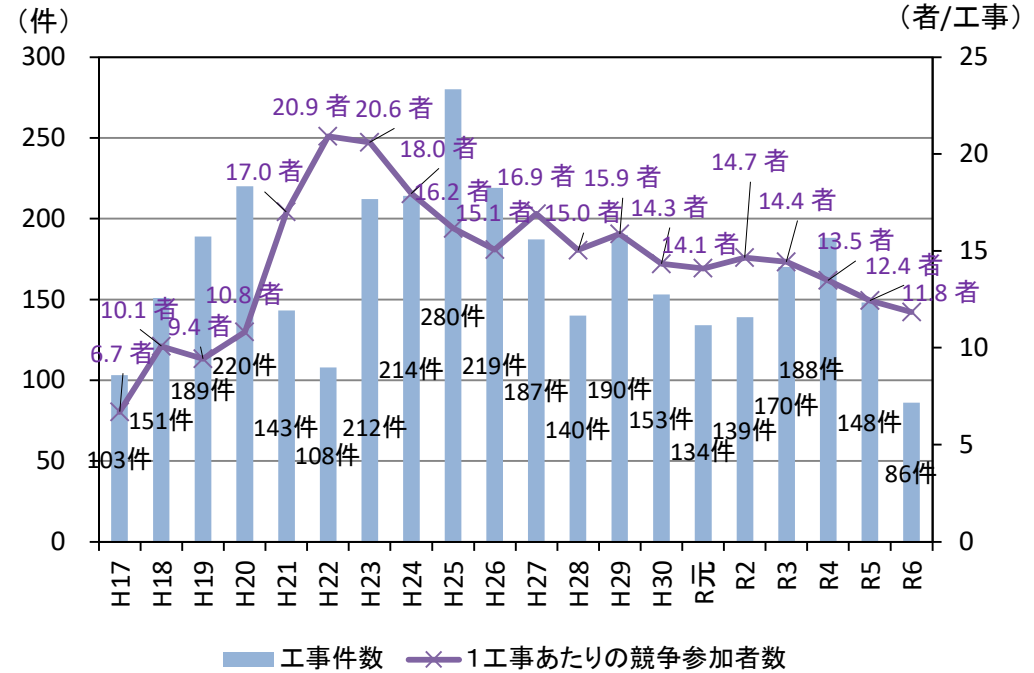
- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型で5.7者であり、前年度からやや減少している。技術提案評価型(S型)は5.8者であり、R2年度以降の減少傾向から増加に転じた。
- WTO技術提案評価型(S型)の1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型、技術提案評価型(S型)に比べて多いものの、R2年度以降の減少傾向が継続しており、令和6年度は11.8者であった。

【 1工事あたりの競争参加者数 】

(者/工事)



【 工事件数の推移と1工事あたりの競争参加者数 】
(WTO標準型/WTO技術提案評価型S型)



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)
 注2) 平成22年度以前の競争参加者数は7地方整備局で集計

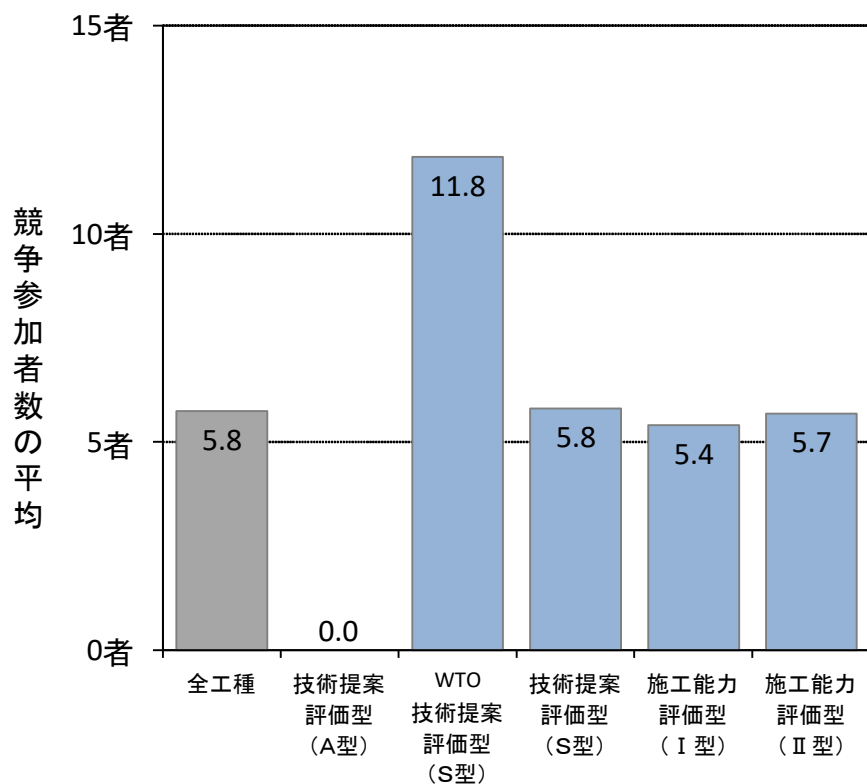
注3) 競争参加者数には無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。
 注4) 「WTO(標準型)」は、標準I型、標準II型のうちWTO対象額以上の工事、
 「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTO対象額以上の工事を示す。(以後、同様)

2. 競争の程度の状況

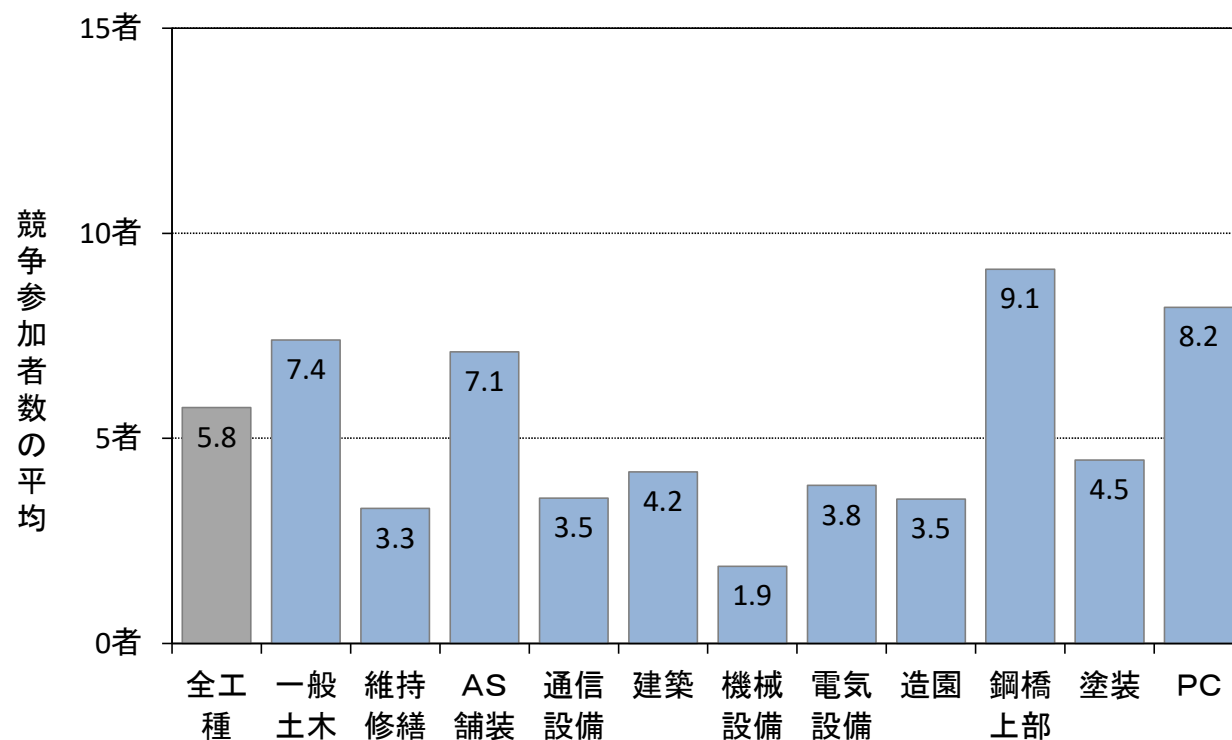
(2) 競争参加者数の平均〔令和6年度（タイプ別/工事種別別）〕

- 総合評価の契約タイプ別では、WTO技術提案評価型(S型)では平均11.8者と多くなっている。その他のタイプはいずれも5~6者前後でほぼ同水準となっている。
- 工事種別別では、鋼橋上部で平均9.1者、PCで8.2者、一般土木で7.4者、AS舗装で7.1者と他の工事種別に比べて競争参加者が多くなっている。

【 契約タイプ別・競争参加者数の平均 】



【 工事種別別・競争参加者数の平均 】



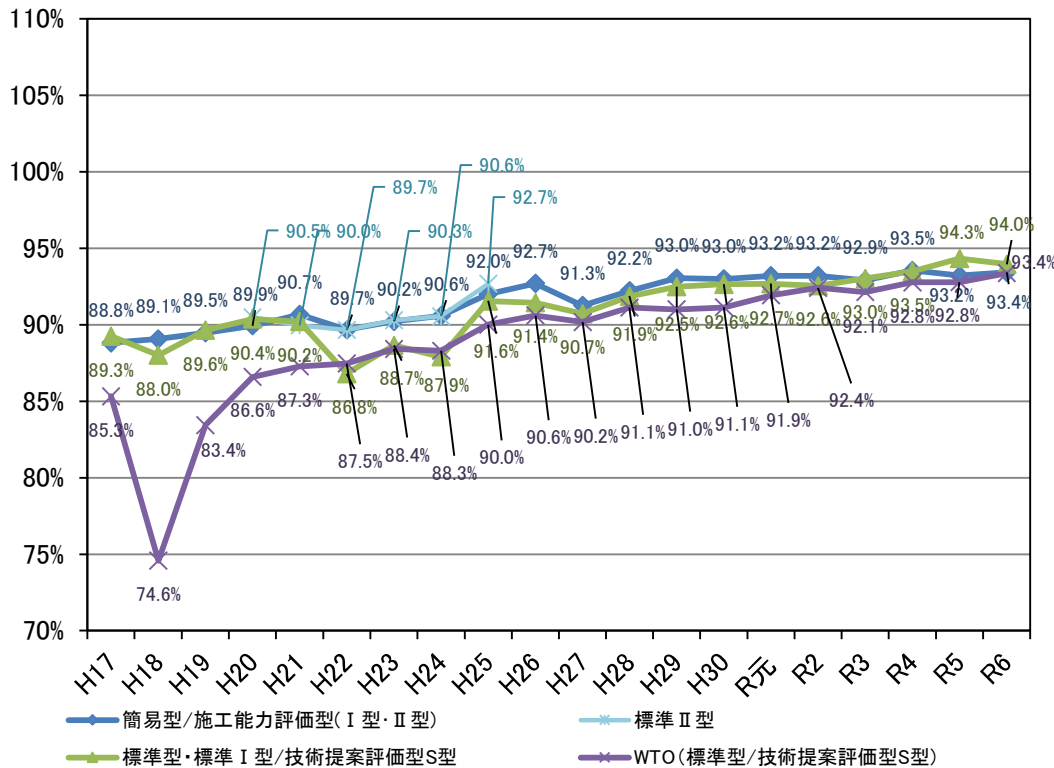
注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く総合評価方式適用工事を対象
注2) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む

3. 落札率・入札率の状況

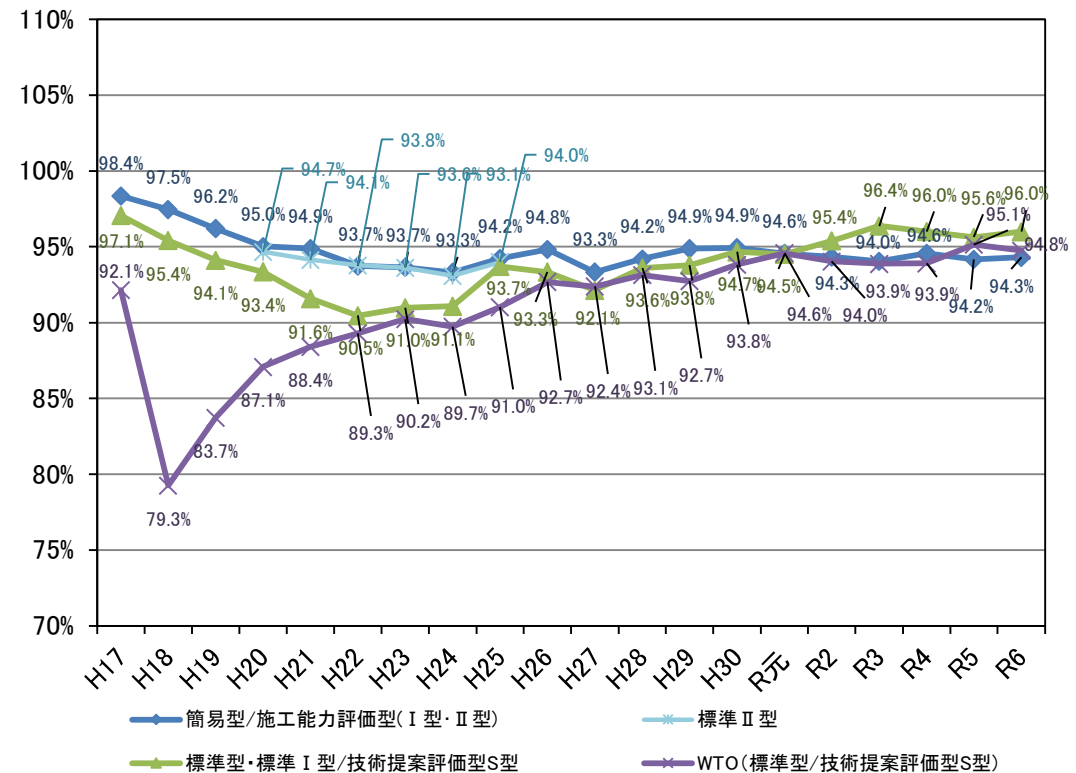
(1) 落札率・入札率の平均〔経年の推移〕

- 平均落札率は、施工能力評価型（I型・II型）が93.4%、技術提案評価型（S型）が94.0%、WTO技術提案評価型（S型）が93.4%であり、タイプごとのばらつきが小さい。
- 平均入札率は、施工能力評価型（I型・II型）が94.3%、技術提案評価型（S型）が96.0%で前年度から微増、WTO技術提案評価型（S型）は94.8%と前年より減少している。

【落札率】



【入札率】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型 ・加算方式の試行工事 (平成19年度)

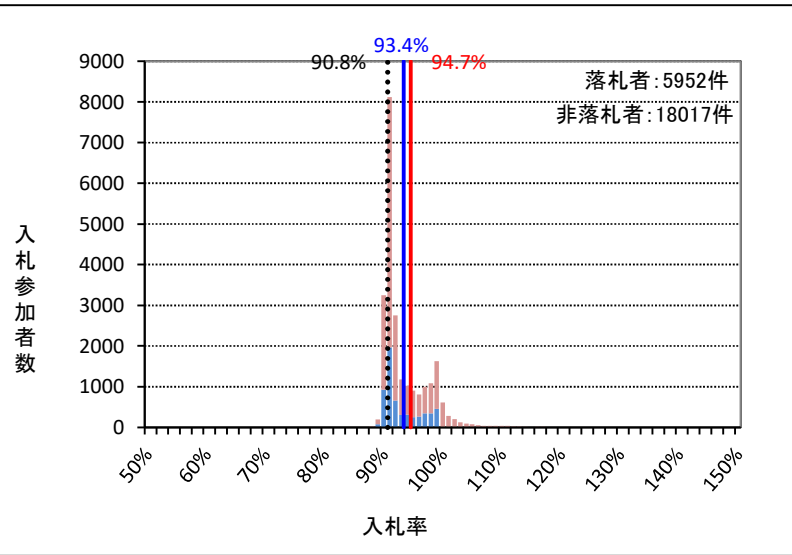
注2) 落札率は「落札価格÷予定価格の工事平均、入札率は「入札価格÷予定価格」の入札参加者平均を算出

3. 落札率・入札率の状況

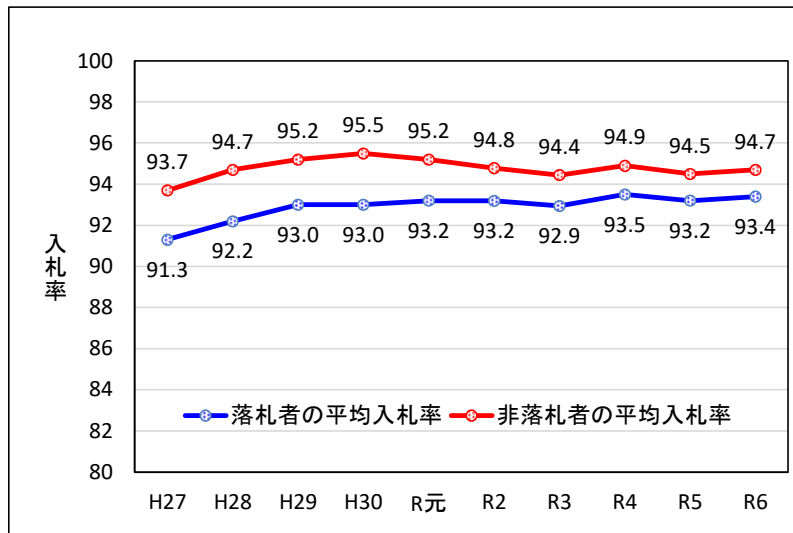
(2) 入札率の分布〔経年変化〕

- 入札率の分布は調査基準価格付近で多く、落札者の平均入札率は令和6年度に93.4%となった。
- 落札率・入札率ともにR5年度は減少したが、R6年度はR4年度に近い水準まで上昇している。
- 調査基準価格の導入等の対策により、ダンピングの問題は生じていない

【令和6年度】



【平均入札率の経年変化】



〔凡例〕

- 非落札者 (Red square)
- 落札者 (Blue square)
- 落札者(平均) (Blue line)
- 非落札者(平均) (Red line)
- 調査基準価格率(平均) (Dotted line)

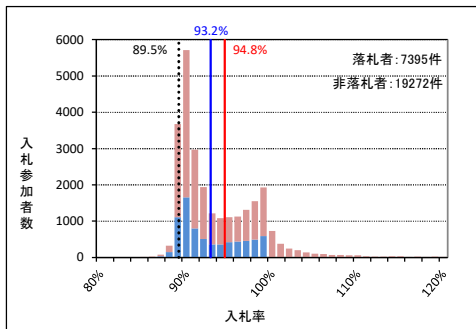
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

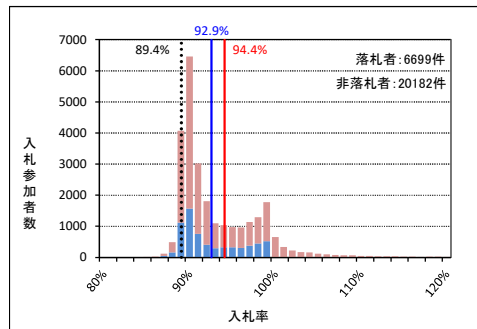
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 「調査基準価格率」とは、調査基準価格を予定価格で除して算出した数値

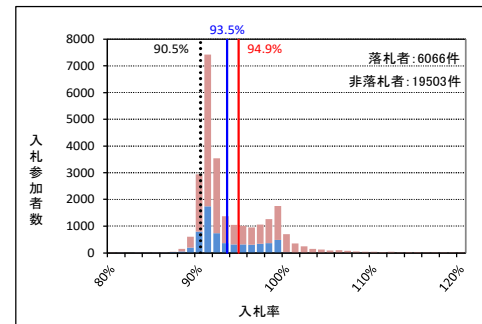
【令和2年度】



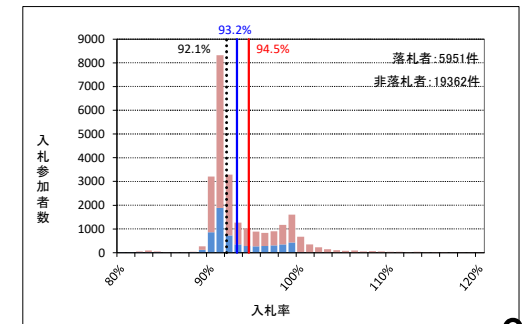
【令和3年度】



【令和4年度】



【令和5年度】



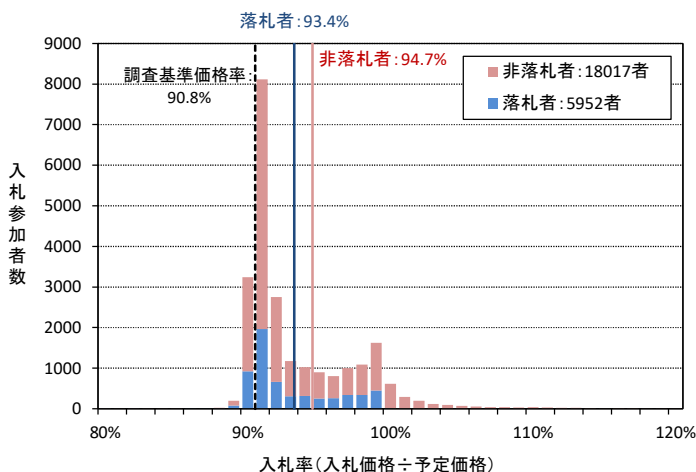
3. 落札率・入札率の状況

(3) 入札率の分布〔令和6年度（タイプ別/工事種別別）〕

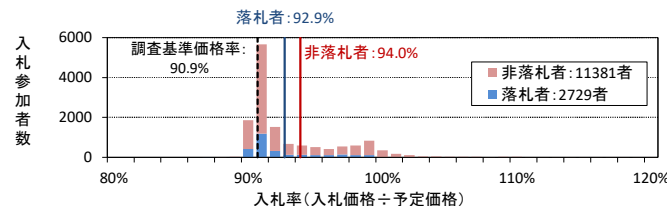
① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PC、電気設備では、入札率の分布が調査基準価格付近に集中している。
- 維持修繕、機械設備では、予定価格付近と調査基準価格付近に入札率分布の集中が見られる。

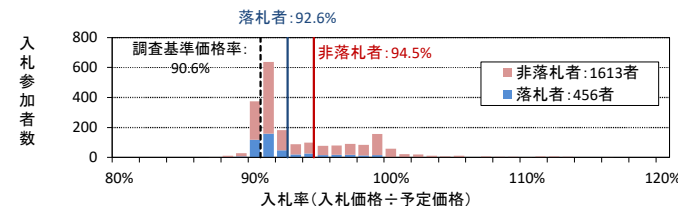
〔全工事〕
 工事件数: 5952件
 平均工事規模: 213百万円
 平均入札参加者数: 4.0者



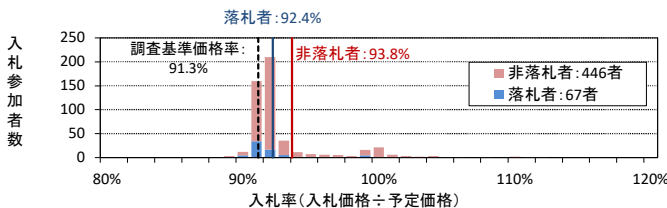
〔一般土木〕
 工事件数: 2729件
 平均工事規模: 259百万円
 平均入札参加者数: 5.2者



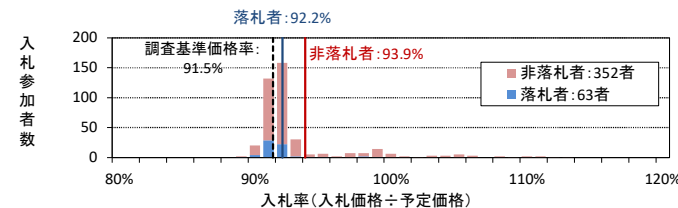
〔AS舗装〕
 工事件数: 456件
 平均工事規模: 168百万円
 平均入札参加者数: 4.5者



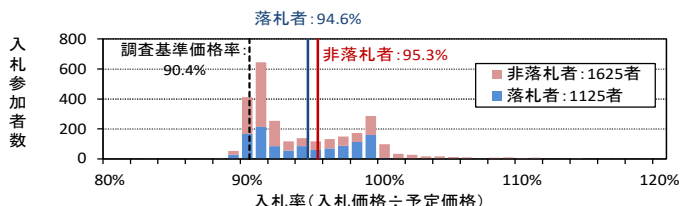
〔鋼橋上部〕
 工事件数: 67件
 平均工事規模: 769百万円
 平均入札参加者数: 7.7者



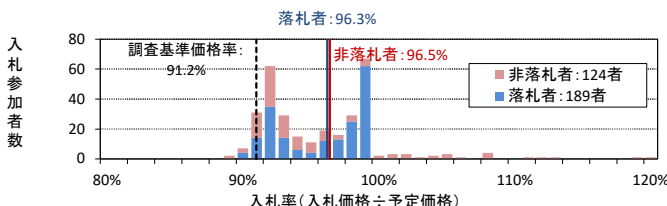
〔PC〕
 工事件数: 63件
 平均工事規模: 714百万円
 平均入札参加者数: 6.6者



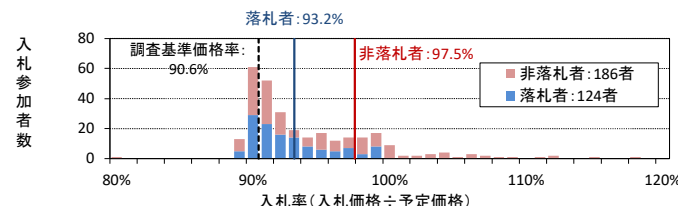
〔維持修繕〕
 工事件数: 1125件
 平均工事規模: 135百万円
 平均入札参加者数: 2.4者



〔機械設備〕
 工事件数: 189件
 平均工事規模: 217百万円
 平均入札参加者数: 1.7者



〔電気設備〕
 工事件数: 124件
 平均工事規模: 141百万円
 平均入札参加者数: 2.5者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格が設定されていない工事

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

3. 落札率・入札率の状況

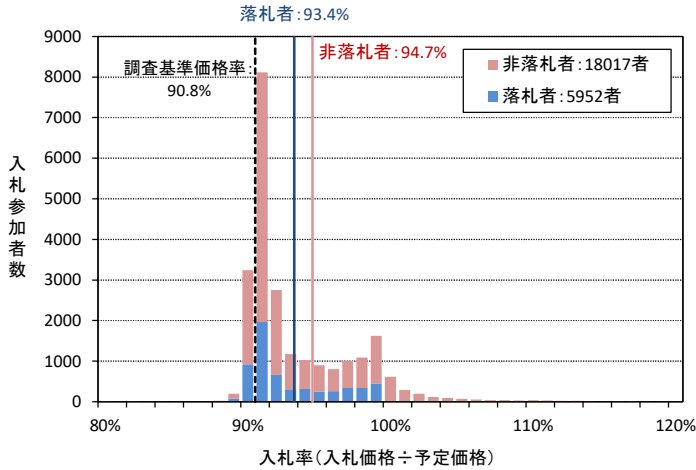
(3) 入札率の分布〔令和6年度（タイプ別/工事種別別）〕

②タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、入札率の分布が調査基準価格付近に集中する傾向が顕著であり、予定価格付近での入札がほとんど見られない。

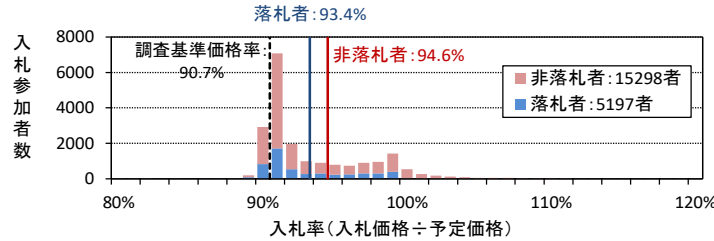
〔全工事〕

工事件数:5952件
平均工事規模:213百万円
平均入札参加者数:4.0者



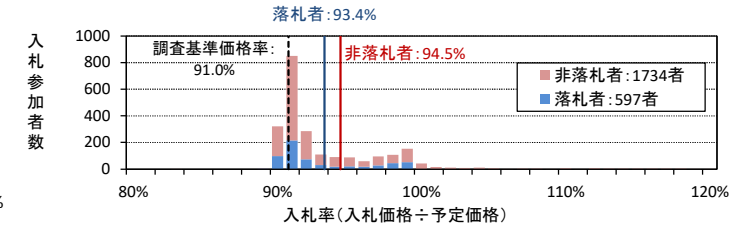
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数:5197件
平均工事規模:166百万円
平均入札参加者数:3.9者



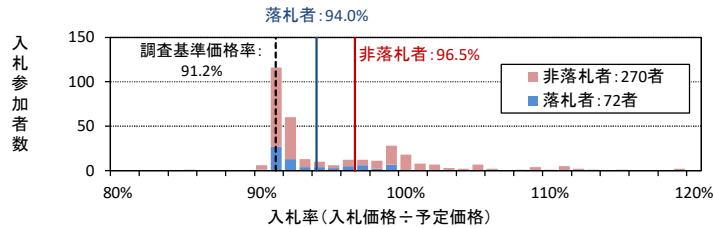
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数:597件
平均工事規模:255百万円
平均入札参加者数:3.9者



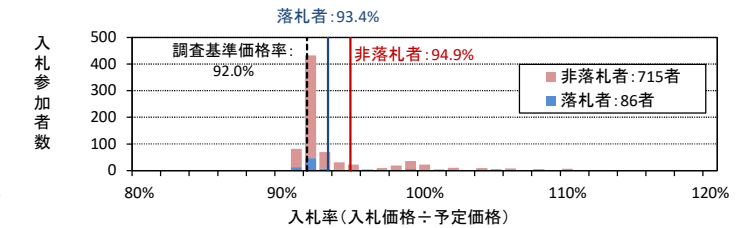
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数:72件
平均工事規模:399百万円
平均入札参加者数:4.8者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数:86件
平均工事規模:2631百万円
平均入札参加者数:9.3者



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事 ・価格競争
・調査基準価格が設定されていない工事

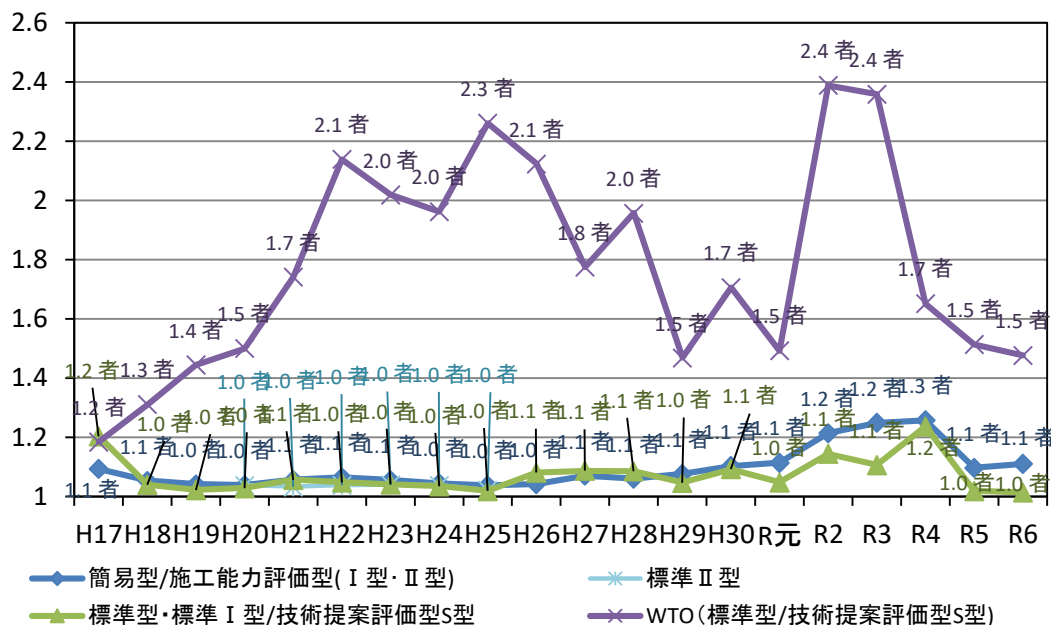
注2)入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

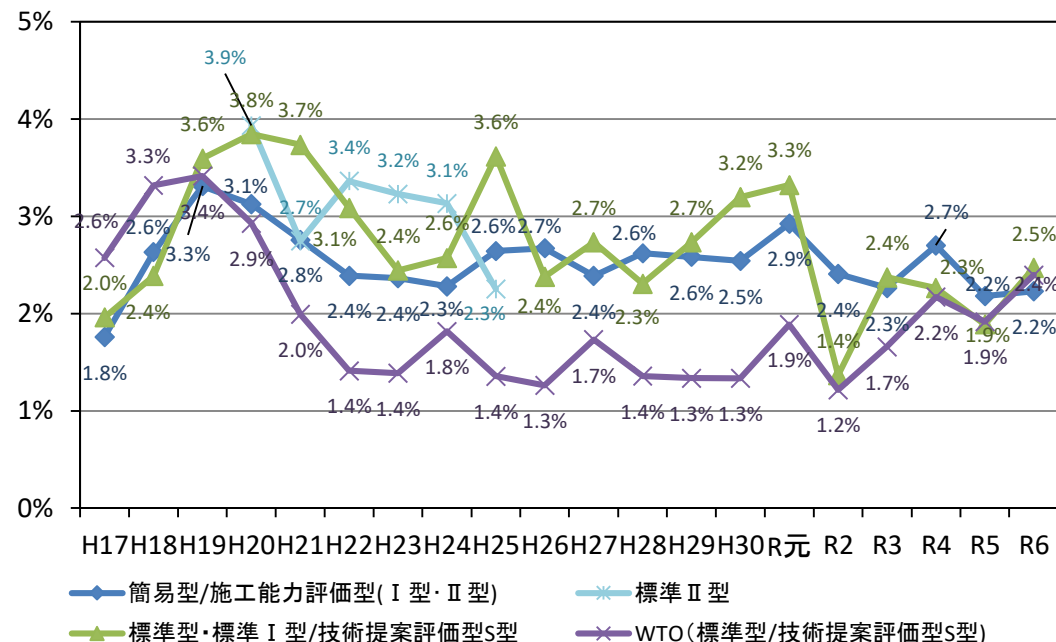
(1) 技術評価点の一位同点者数、1位と2位の得点率の差〔経年の推移〕

- 技術評価点1位同点者数は、いずれのタイプでも前年度からほぼ横ばいである。
- 技術評価点1位と2位の得点差は、令和6年度はいずれのタイプも令和5年度から増加し、各タイプ同水準となっている。

【 技術評価点 1 位同点者数 】



【 技術評価点 1 位と 2 位の得点率の差 】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)
 注2) 技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

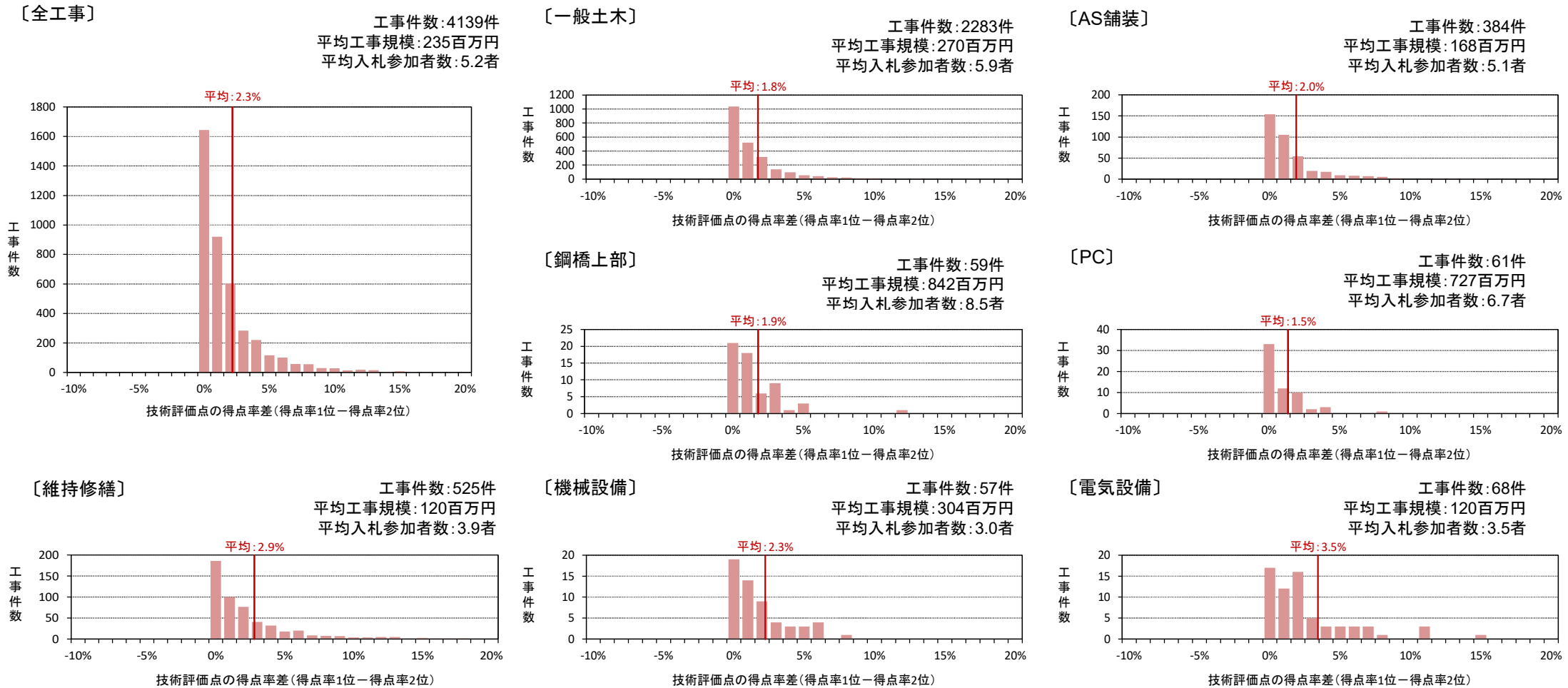
注3) 以下の工事は比較から除いている。
 ・予定価格内1者の案件(「技術評価点1位と2位の得点率の差」の集計)

4. 技術評価の状況

(2) 技術評価点1位と2位の得点率の差〔令和6年度（タイプ別/工事種別別）〕

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、概ね2%前後となっており、維持修繕、電気設備と比べて差がつきにくい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
 ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

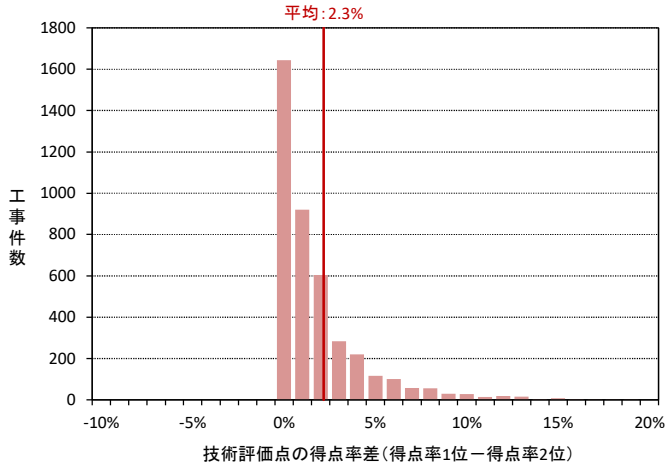
(2) 技術評価点1位と2位の得点率の差〔令和6年度（タイプ別/工事種別別）〕

②タイプ別

■ 近年「技術評価点1位と2位の得点率の差」が付き易くなっているWTO技術提案評価型(S型)では、他のタイプと同様の平均値や分布状況が見られる。

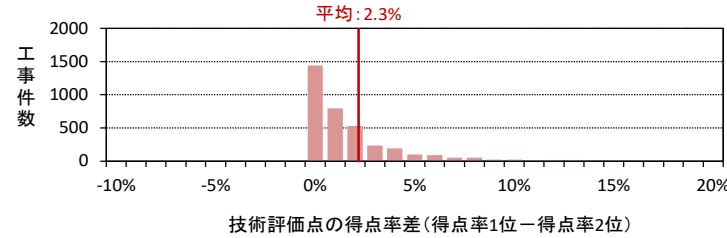
〔全工事〕

工事件数: 4139件
平均工事規模: 235百万円
平均入札参加者数: 5.2者



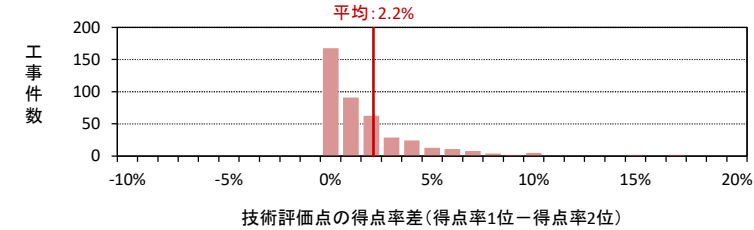
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 3596件
平均工事規模: 177百万円
平均参加者数: 5.1者



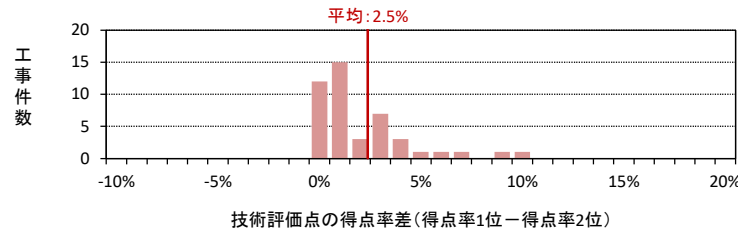
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数: 422件
平均工事規模: 260百万円
平均参加者数: 5者



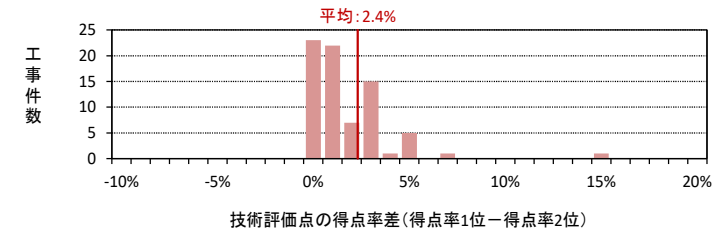
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 45件
平均工事規模: 490百万円
平均参加者数: 6.9者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 76件
平均工事規模: 2673百万円
平均参加者数: 10.4者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争
・予定価格内1者の案件

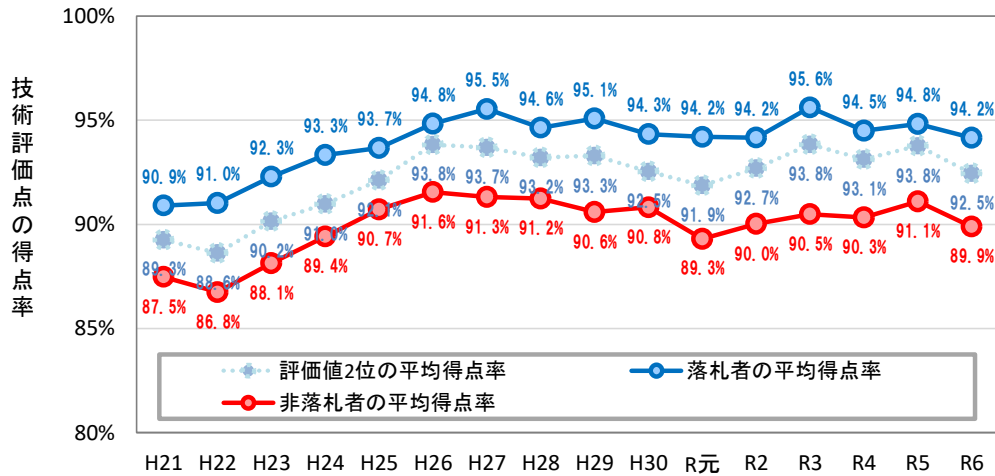
注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

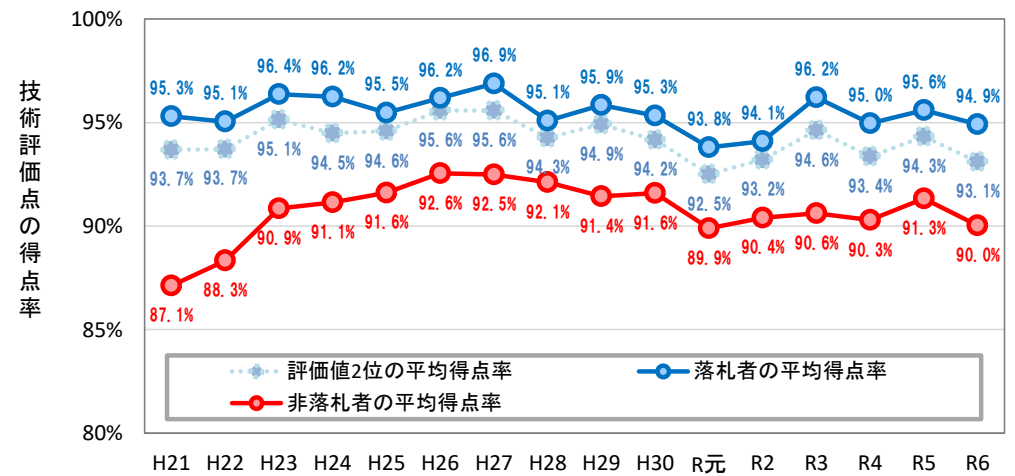
(3) 技術提案評価型S型の技術評価点の推移

■ 技術提案評価型S型(WTO)においては、落札者、非落札者ともにR5年度から低下している。

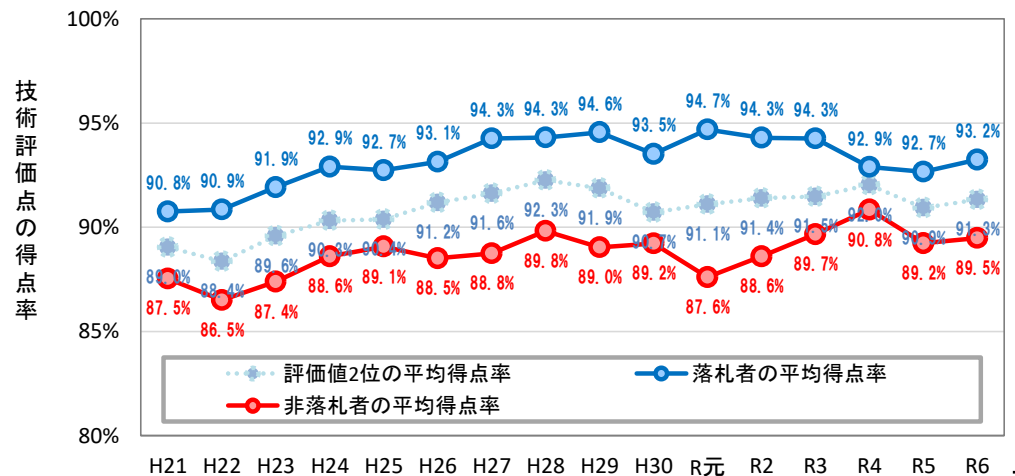
【 技術評価点の得点率 S型全体 】



【 技術評価点の得点率 S型(WTO) 】



【 技術評価点の得点率 S型(非WTO) 】



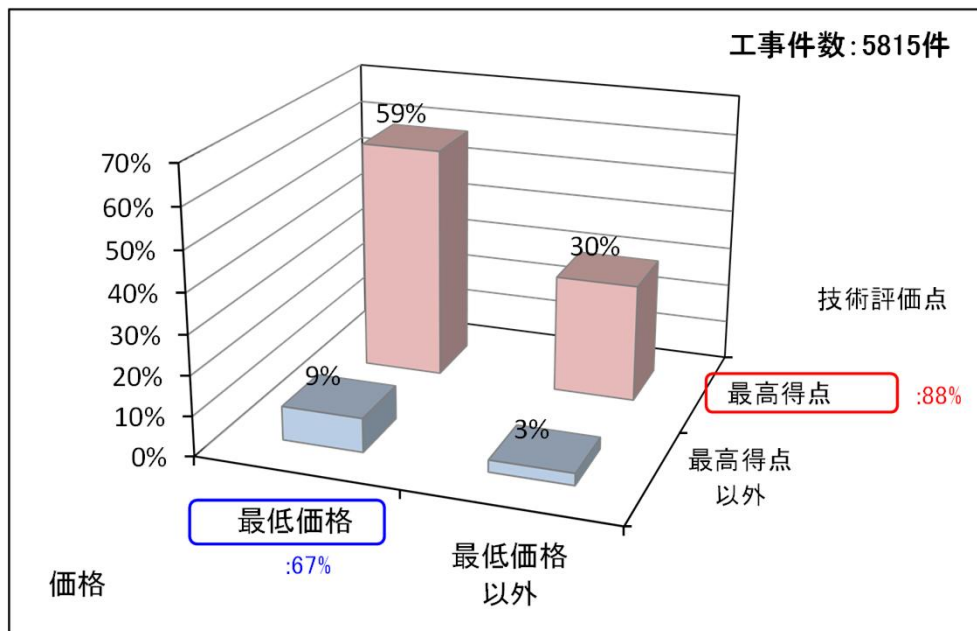
注) 8地方整備局(港湾・空港関係工事を除く)の技術提案評価型S型(標準型含)工事を対象。
非落札者の平均得点率は予定価格内の入札者を対象に算出。

5. 総合評価の特徴

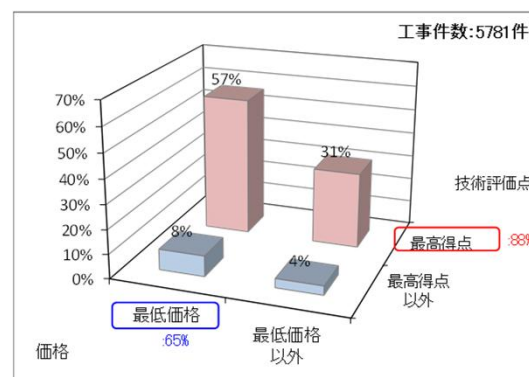
(1) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合〔施工能力評価型〕〔経年変化〕

- 令和6年度は、落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」が88%、「最低価格者の割合」が67%であった。
- 最高得点かつ最低価格の競争参加者が59%を占める状況となっている。

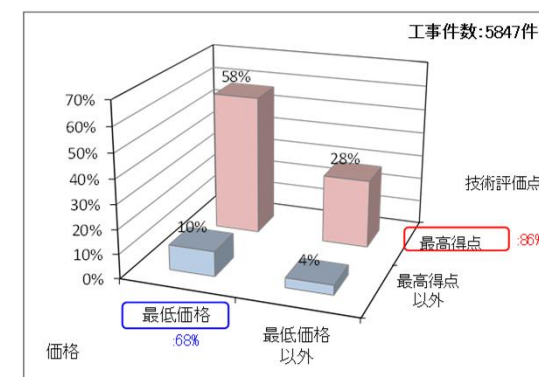
【令和6年度】



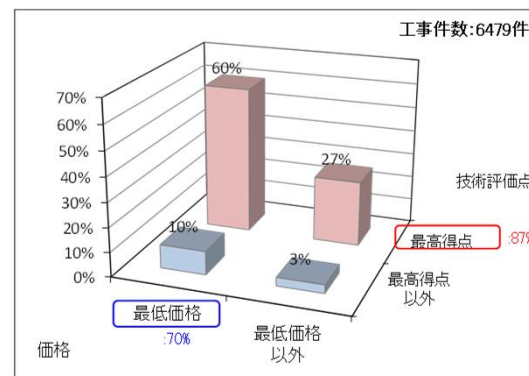
【令和5年度】



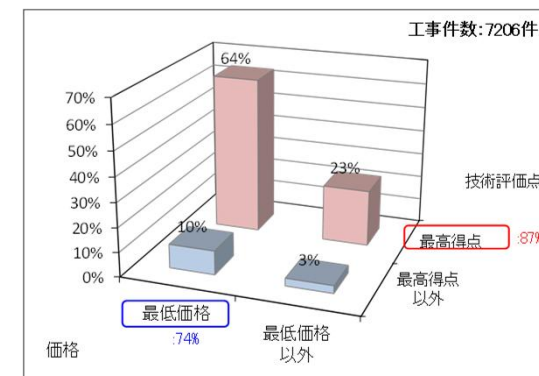
【令和4年度】



【令和3年度】



【令和2年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

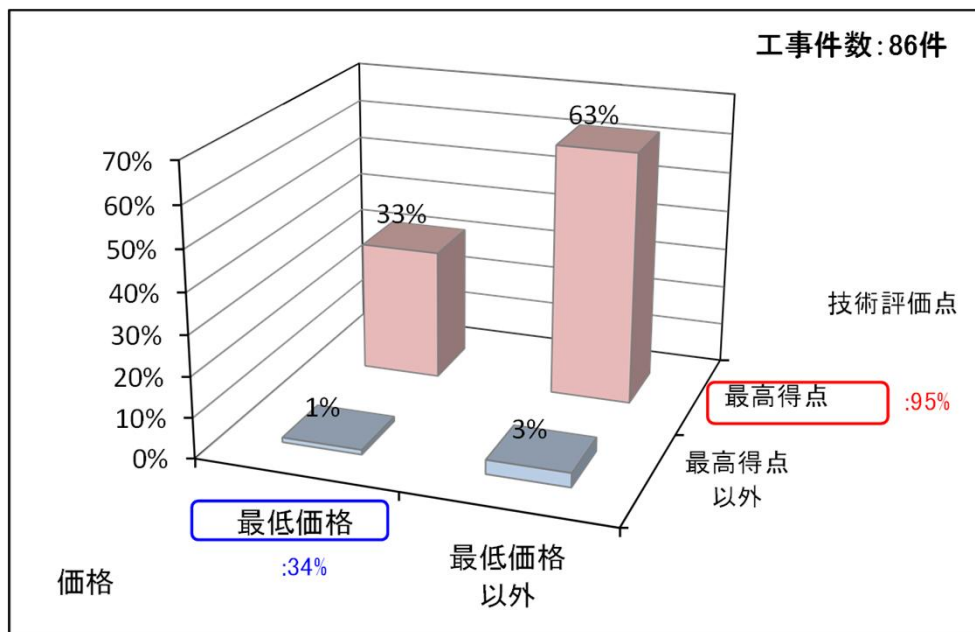
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 総合評価の特徴

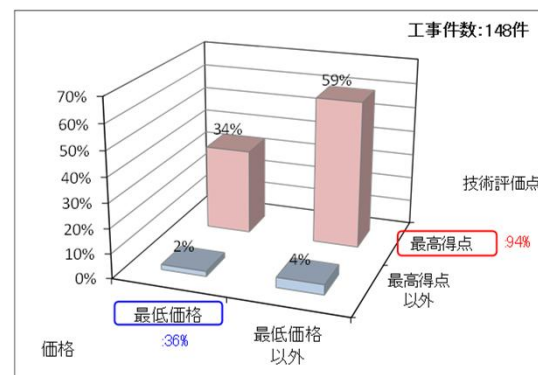
(2) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO技術提案評価型(S型)] [経年変化]

- 施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高い。
- 一方で、WTO技術提案評価型(S型)では最低価格以外の者の落札が多い。

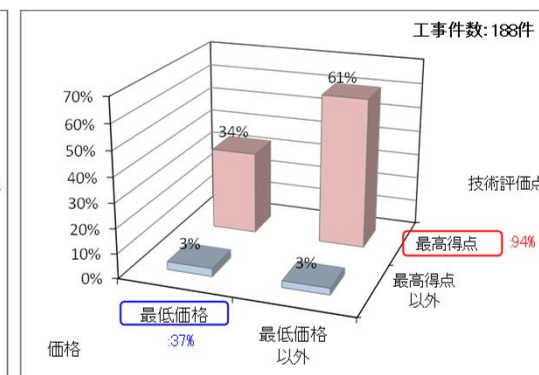
【令和6年度】



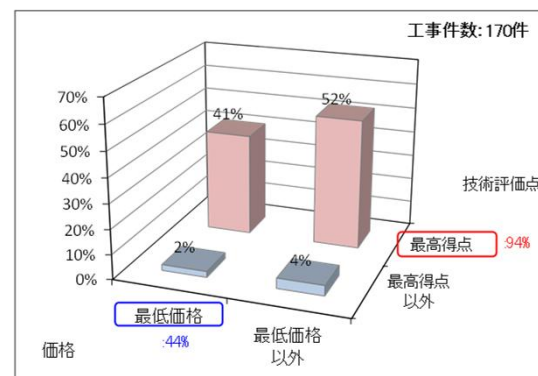
【令和5年度】



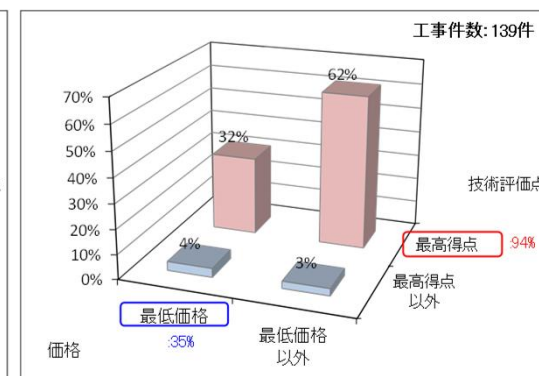
【令和4年度】



【令和3年度】



【令和2年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) WTO技術提案評価型(S型)には二極化前のWTO標準型も含む

注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 総合評価の特徴

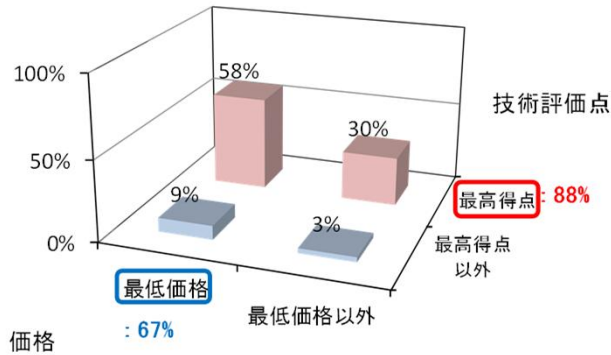
(3) 落札者の内訳〔令和6年度（タイプ別/工事種別別）〕

① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装は、「最高得点・最低価格」と「最高得点・最低価格以外」が落札する割合が同程度となっている。PC、鋼橋上部は「最高得点・最低価格点以外」が落札する割合が多い。
- 維持修繕、機械設備、電気設備は、「最高得点・最低価格」が落札する割合が多い。

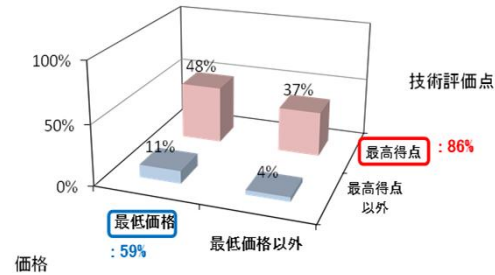
〔全工事〕

工事件数:5973件
平均工事規模:212百万円
平均入札参加者数:4.0者



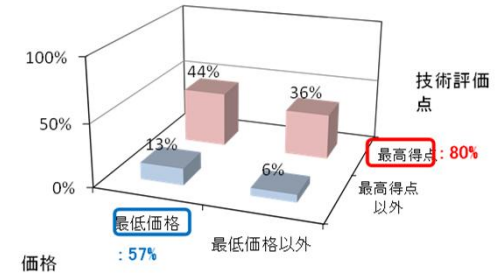
〔一般土木〕

工事件数:2729件
平均工事規模:259百万円
平均入札参加者数:5.2者



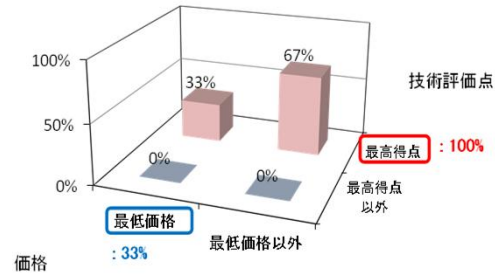
〔AS舗装〕

工事件数:456件
平均工事規模:168百万円
平均入札参加者数:4.5者



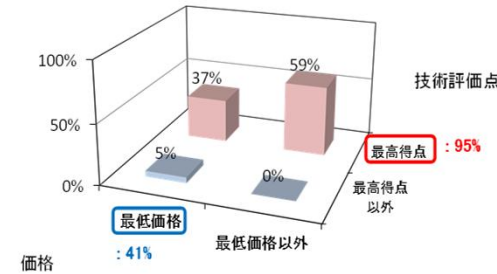
〔鋼橋上部〕

工事件数:67件
平均工事規模:769百万円
平均入札参加者数:7.7者



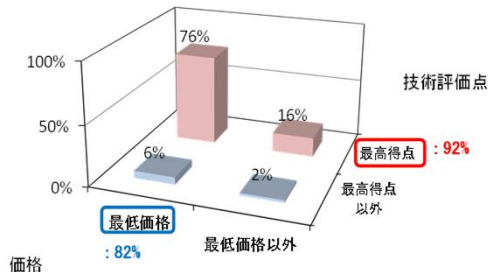
〔PC〕

工事件数:63件
平均工事規模:714百万円
平均入札参加者数:6.6者



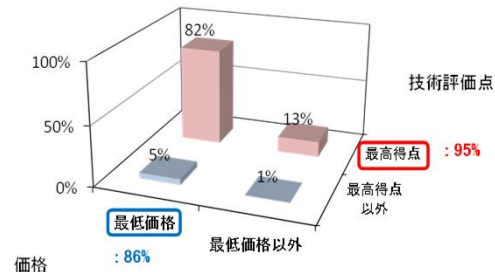
〔維持修繕〕

工事件数:1134件
平均工事規模:134百万円
平均入札参加者数:2.4者



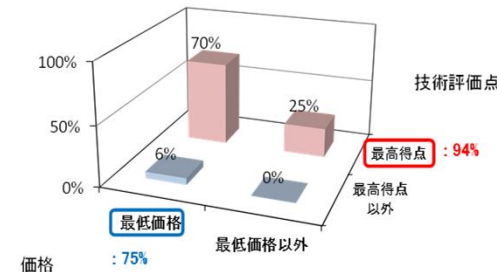
〔機械設備〕

工事件数:191件
平均工事規模:214百万円
平均入札参加者数:1.7者



〔電気設備〕

工事件数:126件
平均工事規模:139百万円
平均入札参加者数:2.5者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

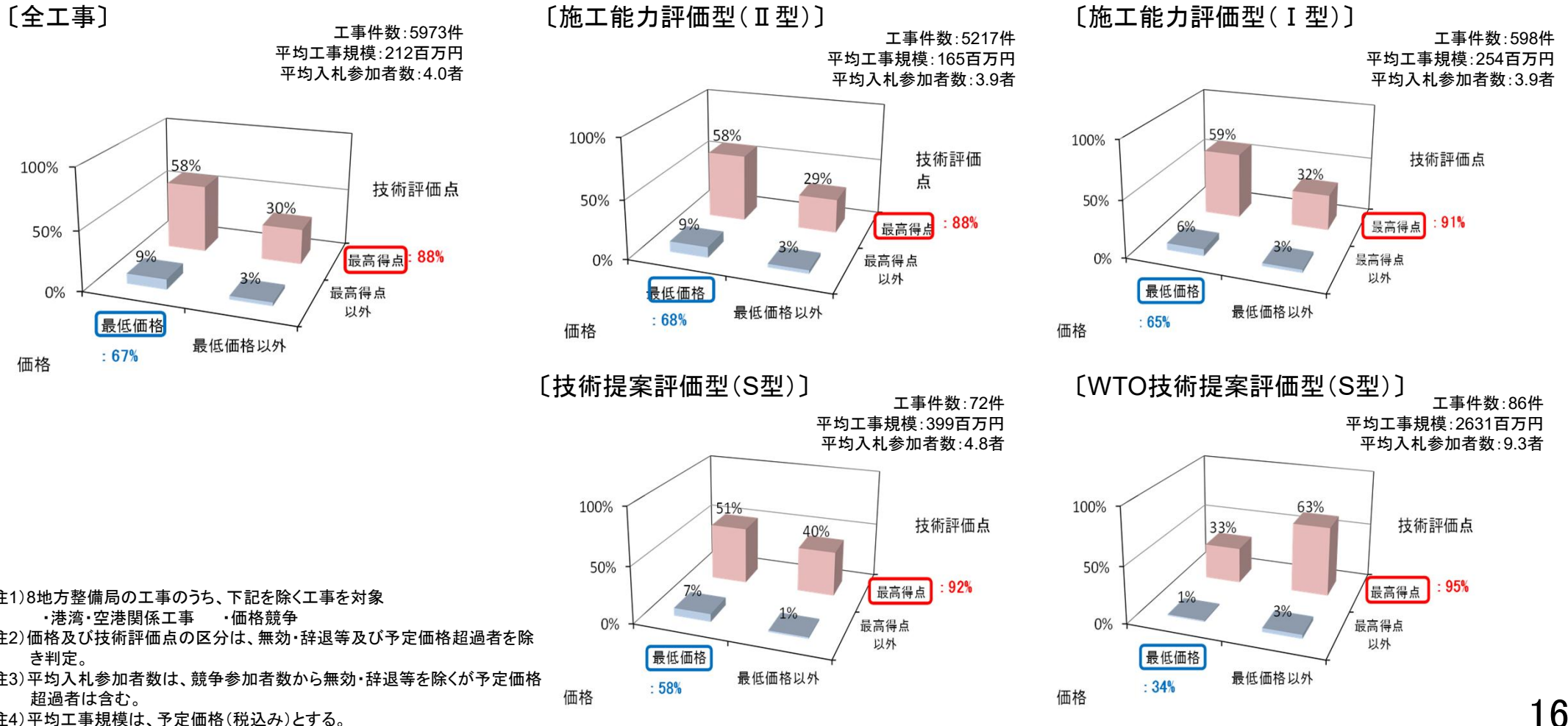
注4) 平均工事規模は、予定価格(税込)とする。

5. 総合評価の特徴

(3) 落札者の内訳〔令和6年度（タイプ別/工事種別別）〕

②タイプ別

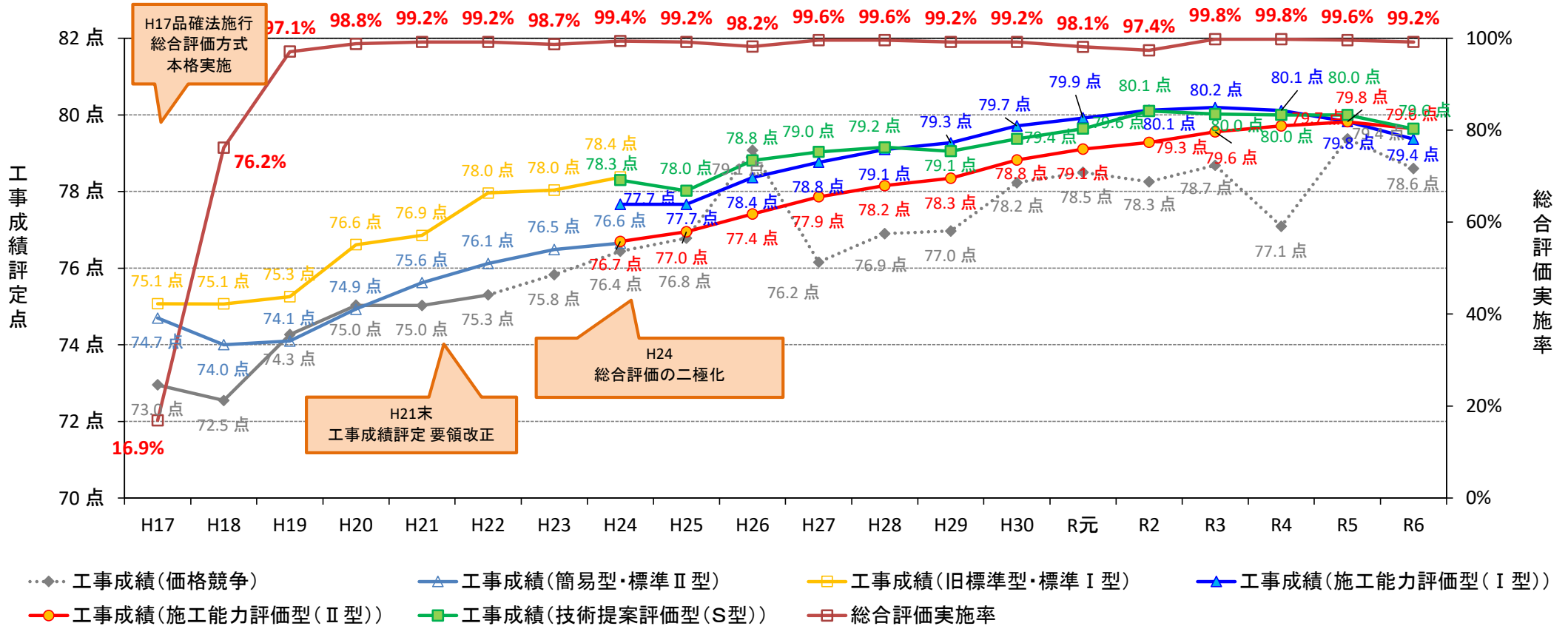
- 施工能力評価型（Ⅰ型・Ⅱ型）、技術提案評価型（S型）は、「最高得点・最低価格」が落札する割合が多い。
- WTO技術提案評価型（S型）は、「最高得点・最低価格以外」の落札が多く、価格で差が付きにくい特性があると推察される。



6. 工事成績評定点の推移

(1) 工事成績評定点の推移

■ 工事成績評定点の平均は経年で上昇傾向となっており、近年80点前後で推移。平均的に一定の水準が確保されている。



	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H26件数	H27件数	H28件数	H29件数	H30件数	R元件数	R2件数	R3件数	R4件数	R5件数	R6件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	50	77	13	20	33	27	138	118	19	22	16	10
総合評価(簡易型・標準Ⅱ型)	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,933	7,230	2,644	2,644	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
総合評価(旧標準型・標準Ⅰ型)	378	686	921	725	691	211	255	150	43	43	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合評価(施工能力評価型(Ⅰ型))								341	2,046	2,046	1,256	1,462	1,501	1,650	1,373	1,750	1,365	1,177	748	568	145
総合評価(施工能力評価型(Ⅱ型))								392	4,439	4,439	5,577	4,577	5,839	4,600	4,562	5,441	5,951	8,316	6,233	4,860	1,698
総合評価(技術提案評価型(S型))								68	412	412	376	364	306	448	314	311	268	262	183	52	11

注1) 8地方整備局の工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)、価格競争を含む。
注2) 注1)の工事のうち、契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計

注3) 各年度の工事件数は契約年度別で整理
注4) 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。